



日章学園九州国際高等学校校長便り 葉月
建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
学園スローガン：**継続は力なり**
学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和5年(2023年)8月1日(火)校長 屋田伸仁



7月17日(日)に本校体育館で、文化祭が開催されました。他の高校にはない、本校の文化祭の特長は一般生と留学生と一緒に協力して、創り上げる、**国際交流の文化祭**です。本年度の文化祭のテーマは「**Re start!**」～ここから再スタート～です。弁論発表、クラス合唱、マジックショー、伝統芸能、個人発表、職員合唱、作品展示等がありました。特に、本年度は東京から仙若様が来られて、伝統芸能「**江戸太神楽**」を披露していただきました。和傘の上に金輪や茶碗、枡等に乗せて回すという、タネも仕掛けもない、ハッと息をのむ神業の連続に生徒達もすっかり魅了されました。

文化祭に向けて2週間という短い練習期間でしたが、当日の内容はどれも素晴らしく、演者も観客も十分に満足したと思います。さて、文化祭テーマの「**リスタート**」はこれからの学校生活にも活かしていけそうです。今まで、続けていた努力を更にバージョンアップして、リスタートする、あるいは、今までをリセットして、新しくリスタートする。リスタートにいろんな形がありますが、改良しながら、継続していけば、必ず大きな力になり、いろんな道が開かれていきます。生徒の皆さん、**「継続は力なり」**の精神で、それぞれのリスタートを開始してみてください。



百人一首 & コミュニケーションマジック



6月に百人一首の歌の内容を一首ずつ、手品で創作して表現するという特別授業をやってみました。百人一首の斬新な取組は生徒達には好評でした。また、7月にはえびの市の家庭教育学級の「**親育て**」講座で、同じように百人一首と手品をコラボし、親子コミュニケーションを盛り上げました。「親も子も笑顔で楽しく参加できました。ありがとうございました。」との感想をたくさんいただき、やってよかったと思いました。20代のときに、宴会芸から始まった手品でしたが、今では入学式や卒業式の式辞でも活用したり、百人一首の歌も手品で表現したりできるようになりました。「**芸は身を助ける**」です。「**教育手品**」として、これからも手品道に邁進したいと思います。

お知らせです。ボランティアの出張講座で、小・中・高校生や教員、一般、高齢向けの手品教室やワークショップもできます。ぜひ、本校へご連絡ください。



The early bird catches the worm.



～早起きは三文の徳～



毛虫は、夜に這い出て動いています。その毛虫も日の出頃には再び地下にもぐってしまうので、早起きの鳥だけがその毛虫を食べることができます。早起きをする鳥は、得をします。鳥だけでなく、人も朝早く起きると、健康にもいいし、それだけ仕事や勉強がはかどったりします。

さて、夏休みが始まりました。寮生活や学校生活がある間は、朝の登校時間や授業の時間割があったので、生活リズムが自然に身に付きましたが、夏休みは自分で時間割を作らなければいけません。自主時間割がないと、つい、スマホ・ゲームをやりすぎたり、昼夜逆転の生活を繰り返したりして、後悔の夏休みになります。夏休みだからこそ、早起きし、涼しい快適な環境で、「**朝型**」の**学習や運動**をしてみてください。「**早寝・早起き・朝ごはん**」の規則正しい生活習慣こそが、人間の体には良いのであり、健康な体は頭の働きを良くして、人生の成功につながると思います。

